日向市社会福祉協議会

社協だより

ハートフル
11月号
2023年

富島高校　生活文化科　学校家庭クラブ　3年生

本会では市内小学校・中学校・高等学校、地域住民を対象とした福祉教育に取り組んでいます。
宮崎県立富島高校では令和３年度から「“共に生きるチカラ”を身につける地域福祉活動」と題して、地域住民の皆さんとの“出会い”の中で、福祉について学び、学生の私たちにできる地域福祉活動を考え、実践する取り組みを行っています。

児童へ家事の大切さを伝える

地域住民を対象としたスマホ講座

いきいきサロンでの料理教室

プログラムに関わった富島高校３年生に聞く！活動を通して学んだことは…

○ 「共に生きる」とは**地域の人とお互いに無いものを補い合い、共有すること**だと理解しました。
○ 社会で起きている出来事について、**興味・関心を持って知るべき**だと思いました。
○ 地域の人と関わる時間が増え、活動が好きになりました。**これからも地域の人と関わっていきたい。**
○ 人を思いやる気持ちや地域の人たちとの交流の**楽しさ、大切さ**を学ぶことができました。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金

10.1運動開始セレモニー

今年も１０月１日より全国一斉に赤い羽根共同募金がスタートしました！

スタート初日は、イオン日向店、マルイチ財光寺店、ミスターマックス日向店様のご協力の下、運動開始セレモニーとして街頭募金活動を実施しました。

今後の展開として、各スーパー・店舗にご協力いただき、各ボランティア団体が街頭募金活動を実施予定です。その他、戸別・法人・学校・職域・店舗募金など様々な形でご協力をいただければと思います。今年度も皆さんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

10.1 街頭募金活動の様子

ありがとうメッセージ

助成を行った団体から届いたメッセージ・活動の様子をご紹介します！

～簡易な家事支援サービス団体～ てつだっちゃろ会

・**助成金額** ： １００，０００円

・**事業内容**

住民主体による生活支援として、買物代行やゴミ捨て、庭そうじ等、簡易な家事支援を行う。

・**助成団体から寄付してくれた方へのメッセージ**

利用者さんからいただく利用料は、１回１００円です。共同募金の助成によって、利用者さんの負担を少なくすることができています。買い物をして商品をお届けした時、除草作業をしてスッキリした庭をご覧になった時、本当に喜ばれています。これからもこの活動を続けていきたいと思います。共同募金に寄付していただいた方々に、深く感謝いたします。ありがとうございました。

東郷かんむり

・**助成金額** ： １００，０００円

・**事業内容** ： 運転免許証を持たない高齢者や免許返納等により交通手段がない高齢者を、支援者の自家用車を使用して地域の集いの場まで送迎する移動支援を行う。

・**助成団体から寄付してくれた方へのメッセージ**

地域の高齢化率に比例して支援者の高齢化も進んでいますが、無理をせず一人ひとりができる範囲で支援を行っています。今回、共同募金からの助成金を、活動に必要な経費として活用させていただきました。今後も支援が継続できるよう、安全・安心をモットーに活動していきたいと思っています。

【問合せ先】　宮崎県共同募金会日向市共同募金委員会　（日向市社会福祉協議会内）　担当：黒瀬･河野

令和5年7月福岡県 豪雨災害に係る災害ボランティア派遣報告

九州各県・指定都市社会福祉協議会においては、災害時相互応援協定を締結しており、被害が甚大である場合には、九州各県・指定都市社会福祉協議会に対し、社会福祉協議会職員の派遣について、協力要請することになっています。今回、久留米市災害ボランティアセンターに派遣されましたので、報告します。

派遣初日：オリエンテーション
大分県・熊本県・沖縄県・宮崎県のメンバー

【豪雨災害・派遣の経緯】

７月１０日に九州北部地方（福岡県・佐賀県・大分県）に線状降水帯が発生し、福岡県においては１０日未明から７時間のうちに４回の線状降水帯が発生し、筑後川を中心に被害が発生しました。

同日、福岡県社会福祉協議会災害救援本部が設置され、７月１０日～１３日にかけて福岡県の久留米市や朝倉市、那珂川市、広川町、東峰村において災害ボランティアセンターが開設されています。その後、災害時相互応援協定に基づき、７月２８日から久留米市への派遣が開始され、日向市社会福祉協議会からは第８クール（８月２０日～２４日）の日程で派遣されています。

派遣に入る前（当初）は、第８クールメンバーすべて、災害支援拠点となる久留米市災害ボランティアセンター（サテライト）に行き、福岡県内・県外から来る災害ボランティアの調整役（運営者側）としての役割を担う予定でした。しかし、被災者のニーズが多く残されているとの情報があり、急遽、地元の社会福祉協議会職員等と２人１組となり、床上浸水・床下浸水被害の大きかった現地に赴き、地域調査（ニーズ調査）を実施しました。派遣期間中、合わせて約５００世帯の調査を行いました。

【福岡県での被害の状況】
※福岡県社協より情報 ８月１４日時点での被害状況
人的被害　　１２件
家屋被害　６，５６９件　床上被害１，１２９件
　　床下被害２，３１１件

【福岡県久留米市でのボランティア数】
ボランティア数　　延べ７，９１５名
ボランティアニーズ数　　９６３件
（令和５年１０月１３日時点）

約500世帯の調査を実施

調査終了後、協議の様子

【第８クールを終えて】

当初の派遣場所（災害支援拠点サテライト）から地域調査（ニーズ調査）に変更になったことで、本会としても学ぶべきことが多く、良い経験となりました。

★社協が地域に対して入り込む重要性
（地域調査の方法やアウトリーチの意義）
★平時から関係機関等とのネットワーク構築
★災害と福祉の関係性
（災害のみの支援に終わらせることなく継続的な支援）
★平時から自助力・互助力の大切さについて

報告者：地域福祉課　梅田

【社会福祉協議会が災害ボランティアに取組む意義】

社会福祉協議会は、平時から地域の様々な関係機関・団体とのネットワークを有し、日常的に地域住民と接点があるため、地域に根差した組織として、災害発生直後から迅速に活動を行うことができるという特徴があります。

災害ボランティアセンターの開設・運営に関しては、社会福祉協議会と行政が協定を締結し、災害時において迅速かつ効果的に被災者支援が行えるように、平時から関係者と連携・協働した防災の取組みが進められています。

日頃から地域福祉を推進し、様々な地域課題に対応している社会福祉協議会が、災害時に災害ボランティアセンターを運営することで、災害ボランティアで対応できる作業・内容を受け付けるだけでなく、被災者の心に寄り添った支援を行うことができます。また、災害ボランティアセンターの役割として、関係機関・団体等と連携・協働し、困りごとの解決を目指すことも期待されています。

私たち社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、災害時にむけた取り組みを推進していきますので、引き続きご支援・ご協力お願い申し上げます。

「世界アルツハイマー」月間

認知症啓発イベントを開催しました

国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機関（WHO）が共同で制定した「世界アルツハイマーデー」（９月２１日）「アルツハイマー月間」（９月）に合わせ、本会でも認知症の正しい理解の促進と啓発活動を行いました。

日向市役所での展示①

日向市役所での展示②

コミュニティカフェひなたでの書籍紹介

イオン日向店での展示

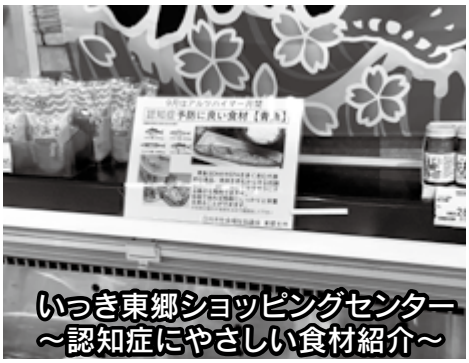
今年度は、「日向市役所」「日向市総合福祉センター（本会）」「イオン日向店」「東郷公民館（さくら館）」「いっき東郷ショッピングセンター」において、日向市における認知症に関する取り組みをまとめた掲示物を設置し、啓発活動を行いました。

また、９月２６日（火）には「イオン日向店」にて「コミュニティカフェひなた」を開催し、立ち止まって展示物を見る方や家族の認知症に関する相談をする方も多くいらっしゃいました。

「日向市総合福祉センター（本会）」「東郷公民館（さくら館）」「コミュニティカフェひなた」では、認知症書籍を設置しました。

コミュニティカフェひなた

東郷公民館での展示


いっき東郷ショッピングセンター
～認知症にやさしい食材紹介～

認知症になっても安心して暮らせる地域に･･･

「アルツハイマー月間」の参加型企画として、本会が行っている４つのコミュニティカフェで、カフェの参加者や認知症サポーターが「折り紙で作る楊枝入れ」の製作を行いました。

出来上がった作品は、展示会場にて配布するとともに、「認知症の人にやさしい処方箋プロジェクト」として日向市内の薬局・医療機関に設置している認知症書籍コーナーや、「認知症の人にやさしい図書館」にて配布しています。認知症書籍を手に取り、認知症啓発、理解促進につながればと考えています。

制作に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

認知症書籍の貸出について

日向市社会福祉協議会では、認知症に関する書籍の貸し出しも行っています。書籍の設置機関や貸出しについては、お問合せください。

担当：地域福祉課　米良

「令和5年度生活支援サポーターフォローアップ講座」を開催しました

日向市では、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを目指し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築実現にむけ、多方面から取り組んでいます。

今回、これまで生活支援サポーター養成講座を受講した方が一堂に会し、情報共有や新たな活動の展開につなげることを目的に「生活支援サポーターフォローアップ講座」を開催しました。

第1部　スリーA増田方式認知症予防教室

NPO法人日向の国笑いと癒し研究所　小池光貴氏

「NPO法人日向の国笑いと癒し研究所」より、講師の小池光貴先生にお越しいただき、ご講話いただきました。

“笑い”を大事にした手遊びや簡単なゲームなどの実技もあり、地区のサロンや百歳体操にて活用しやすい内容となっていました。

第2部　実践報告「移動サロン“ちゃえん”」

東郷圏域生活支援サポーター　都甲和代氏

地区の公民館や集いの場に行くことのできない方を対象に、その方の自宅のお庭や土間などでサロンを開催する“ちゃえん”の活動に、参加者からも「自分たちの地区でもやってみたい」「報告を聞いてやる気がでました」などの声がありました。

【受講アンケートより】

□大切なのはサポートする人間が先ず、元気な気持ちで笑顔を絶やさず接することが大切だと思った。

□小池先生の講座、最高に楽しかったです。このことをいかに地域に広げていけるか。地域でなくても隣人一人にでも伝えていけたら良いかと思う。

□移動サロンちゃえんの活動は、高齢者の方々の輪がどんどん広がっていて生きがいにつながっていると思う。講習を参考にして、自分の地区での活動に活かしていきたい。

生活支援サポーターの活動

生活支援サポーター養成講座を受講し、登録されたサポーターの活動の場を紹介します。

生活支援サポーター養成講座（サポーター登録）

- いきいきサロン
- 百歳体操
- ごはん倶楽部
- コミュニティカフェ
- スクエアステップ
- 移動支援
- てつだっちゃろ会
  - 草むしり
  - ゴミ出し
  - 買物代行
  - あいのりサポーター

これまで実施してきた養成講座により、現在日向市では２０７名の生活支援サポーターが登録され、各地域で活動しています。社会福祉協議会では、登録後のサポーターが自身の好きなことややりたいこと等、無理のない範囲で活動できるよう活躍の場づくりとサポートを行っています。

気になる活動等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

担当：地域福祉課　林

日向市社会福祉施設等連絡会 部会合同研修報告

高齢者施設･障がい児者施設
合同のBCP研修

福祉現場では、台風や豪雨、地震などによる大規模災害や感染症が蔓延する状況であっても、業務の継続や早急に業務を復旧させることが必要となります。令和６年度から、全ての介護・障がい福祉サービス事業所を対象に、ＢＣＰ（業務継続計画）の策定が義務化され、災害や感染症が発生した場合であっても、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築することとされています。

ＢＣＰ研修前に市内の福祉施設へ実施したアンケートでは、２０施設中（回答施設数）、策定済が９施設、策定中が９施設、未定が２施設という結果であり、また策定済の福祉施設でも、「災害等が発生した時に、活用できるＢＣＰ計画であるか不安である」という意見がありました。これを踏まえ、研修では実際策定後に職員への周知や訓練に取り組んでいる福祉施設の実践事例をもとにＢＣＰについて検討する研修を企画しました。

講師には、高齢者や障がい児者等の事業を行っている「特定非営利法人あったかほーむ愛あい」の理事長 横山美智子氏と事務長 柏田和範氏をお迎えし、取り組みについての報告並びに実践のアドバイスをいただきました。

（主な内容）

■令和２年３月からＢＣＰに関するプロジェクトチームを作り法人内で協議を重ねてきた。協議の中で、ＢＣＰを策定することが目的にならないよう職員に話をし、令和３年９月に策定。感染症のＢＣＰにおいては、主治医との連携や感染した場合を想定し、どのように対応すれば事業所を閉鎖せずに利用者を受け入れることができるか訓練を実施。また、災害時のＢＣＰにおいては南海トラフ地震や日向灘地震等を想定し、利用者の命を守ることも当然ながら職員や職員の家族の安否確認ができるシステムを導入。災害時に関しては地域との連携が欠かせず、施設が所在する自治会との連携を意識しながら定期的に避難訓練を実施。

またＢＣＰは、常に職員が確認できることが大事であり、定期的に見直すことが必要。

（研修参加者の声）

■策定のイメージができました。■策定済でありましたが、今一度活かせるＢＣＰになるよう職員間で協議の場を持ちたいと思います。■分野や事業規模は違いますが参考になりました。

担当：地域福祉課　梅田

日向市ボランティア・市民活動センター

令和５年１０月７日（土）に大王谷公民館で**「第５回うみかぜ土曜教室」**が開催されました。今回の土曜教室は**点字**をテーマに開催され、小学４年生～６年生の１２名が参加しました。社会福祉協議会による福祉講話やボランティア団体「音訳・点訳ひゅうが虹の会」による点字体験を行いました。福祉や障がいについての理解を深め、子どもたちが普段の生活の中で自分たちにできることを考える機会となりました。

★参加した子どもたちの感想

・これからは、困っている人のためになりたい。
・なんだこの点は？と思っていたけど、目が見えない人に役にたっていることが分かった
・点字を外で見つけたら読んでみたい
・点字を使える人が減ってきているのはもったいない

点字を読む様子

点字を打つ様子

「音訳・点訳ひゅうが虹の会」の市田さんは、子どもたちに「点字ができる人は減ってきているが、点字を必要としている人はたくさんいる。」と伝えていました。今回点字の体験を通して、「家族や友達に点字の事を教えたい」という子どもたちもいました。

今後も、子どもたちが様々なボランティアについて知り、楽しさに気づくことができるよう、日向市ボランティア・市民活動センターはボランティアの発掘・育成に力を入れていきます。

担当：地域福祉課　藤田

じどうかん・センターだより

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

ひちやじどうせんたー
日知屋児童センター ☎：52-8443

11月11日(土)

『赤い羽根共同募金 街頭募金活動』(小学生対象)

☆みんなの優しさが、たくさんの人を笑顔にするよ！
　愛と勇気で、たくさんの笑顔の花を咲かせよう！

❀時　　間：９：３０～１２：００
❀場　　所：イオン日向店
❀定　　員：２０名
※集合・解散は日知屋児童センターです。

11月25日(土)

『ちょきちょきぺったん(クリスマス)』(小学生対象)

☆かわいいクリスマス飾りをみんなで作って飾ってみよう！

❀時　　間：１４：００～１５：００
❀定　　員：３０名

12月8日(金)・9日(土)

『わくわくパーク(冬)』(小学生・幼児親子対象)

☆センターの遊具を使って体を動かして遊んでみよう！

❀時　　間
　１日目：１３：００～１６：３０
　２日目：１０：００～１６：００
❀定　　員：なし

12月23日(土)

『クリスマスコンサート』(小学生・幼児親子対象)

☆日向市吹奏楽団の演奏を楽しみましょう♬
　すてきな演奏を聴いて、すてきなクリスマスにしようね♥

❀時　　間：１４：００～１５：３０
❀定　　員：小学生３０名、幼児親子１０組

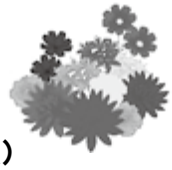
だいおうだにじどうかん
大王谷児童館 ☎：66-1177

11月2日(木)

『親子でリズム遊び♪』(幼児親子対象)

☆音楽に合わせてリズミカルに体を動かしましょう♬

❀時　　間：１０：３０～１１：３０
❀定　　員：親子で１５組



11月11日(土)

『フラワーアレンジメント』(小学生対象)

☆ステキなアレンジフラワー♡
　心を込めてお花を活けてみましょう♪
　お花屋さんが優しく教えてくれますよ。

❀時　　間
　１０：００～１１：３０
❀定　　員：４０名

※いずれも無料で参加できます。必ず事前にお問合せください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

11月25日(土)

『おたのしみショー☆☆』(小学生・幼児親子対象)

☆パフォーマー“かめちゃん”によるパフォーマンスショー！ストリートダンスにパントマイム、たのしいよ～♬

❀時　　間
　１４：００～１５：３０
❀定　　員：３０名

12月15日(金)

『クリスマス会』(幼児親子対象)

☆ウキウキ・ワクワクのクリスマス♪
　サンタさんからのプレゼントはあるかな～♪

❀時　　間
　１０：３０～１１：３０
❀定　　員
　親子で１５組

12月16日(土)

『クリスマス会』(小学生対象)

☆メリークリスマス♬
　歌って踊って楽しく過ごしましょう♪

❀時　　間：１４：００～１５：３０
❀定　　員：３０名

目指せ福祉専門職！！

未来を担う学生の実習受け入れを行いました
～ ソーシャルワーク実習報告 ～

本会では、８月１６日（水）～９月２２日（金）の期間、社会福祉士（ソーシャルワーカー）の資格取得を目指す実習生の受け入れを行いました。

今年度は九州保健福祉大学３名、久留米大学１名の実習生が本会にて、社会福祉に関する実習を行いました。

実習を終えた学生のコメントを紹介します。

九州保健福祉大学　通信教育部
社会福祉学部　臨床福祉学科　　**谷村　紀弘** さん

テキストだけで勉強してきた通信生にとって、実習の不安がありましたが、現場での体験は社協を理解する上で貴重な体験でした。また職員の皆さんが楽しそうに業務に取り組んでいる姿が印象的でした。

この経験を活かせるように、また日向市社協の皆さんのような専門職になれるように頑張りたいです。ありがとうございました。

九州保健福祉大学
臨床心理学部　臨床心理学科　３年　　**辰田　風奈** さん

日向市社協で実習をさせていただいたことで自分の目指す専門職像が見い出すことができました。困っている人たちの心に寄り添い、その人が求める幸せを実現できるよう責任も持ち関わっていけるような専門職になりたいと思います。

実習で学んだことを、自分のものにできるよう今後も継続して勉強していきます。

久留米大学
文学部　社会福祉学科　３年　　**古木　夏空** さん

実習を通して、知識量も増えたり社会福祉士としての視点を持つことが出来たりとたくさん成長することが出来ました。

実習が終わって、社会福祉協議会で将来働きたいと思うようになったので、これから国試に向けて勉強を頑張っていきたいと思います。

九州保健福祉大学
臨床心理学部　臨床心理学科　３年　　**大平　菜月** さん

コミュニティカフェや福祉教育等の地域福祉活動の準備から実践まで見学・参加させていただいた事がとても印象に残っています。この日向市社協で実習させていただいたことで、今の自分にできることへ取り組んでいきたいという気持ちと、社会福祉士になりたいという気持ちが強くなりました。

この実習で学んだことを忘れずに専門職を目指す学生としてのこれからに繋げていきたいと思います。ありがとうございました。

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略　　令和５年８月分

喪主（または寄付者）	故人	地区
佐藤京子	佐藤欣一	越表
岩下栄子	岩下京子	花ヶ丘
兒玉一利	兒玉イワ子	堀一方
奥田正一	奥田ツル子	切島山１
兒島祐子	河野フヂミ	往還
松葉敏信	松葉ヤス子	本宮
山﨑菊枝	山﨑善積	笹野西
釜堀誠士	釜堀美智子	上町
黒木トヨ	黒木文雄	田の原
長田正敏	長田正三	亀崎東
長友弘幸	長友文子	越表
渋谷美春	渋谷弘司	比良
柴崎千恵	柏田澄子	堀一方
石谷千恵子	森岡アサエ	切島山１
黒木修一	黒木安子	奥野
黒木久勝	那須俊男	曽根
菊田昌時	菊田クニ子	本谷

〈香典返し〉敬称略　　令和５年９月分

喪主（または寄付者）	故人	地区
佐藤幸栄	佐藤キヌ子	迫野内
黒木喜千子	黒木藤男	奥野
黒木良春	黒木チエ子	幡浦
髙舘恵美子	髙舘安生	亀崎東
河埜富士子	河埜幸男	駅通り
河野とも子	河野雄二	下原町
三原さゆみ	金丸ユリ子	福瀬
檜垣光代	兒玉ツネ子	庄手
木田裕子	佐藤ケサミ	秋山
榊野嘉延	榊野典子	比良

〈物品寄贈寄付者〉敬称略　　令和５年９月分

氏名	地区	物品
黒木良春	幡浦	紙おむつ
荒砂建一	仲深	玄米

【発行者】
社会福祉法人
日向市社会福祉協議会
［日向市生活相談・支援センター心から］
［日向市ボランティア・市民活動センター］

〔日向本所〕
〒883-0034　日向市大字富高207-3
日向市総合福祉センター
TEL(0982)52-2572／FAX(0982)52-9562
ホームページアドレス　http://hyuga-shakyo.or.jp/

〔東郷支所〕
〒883-0102　日向市東郷町山陰丙1265-2
日向市東郷地区総合福祉センター
TEL(0982)69-2116／FAX(0982)69-2274
Eメールアドレス　hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。奇数月に発行。

この情報紙は再生紙を利用しています。
印刷所　有限会社　第一印刷